



石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議

第91回(今年度第2回) 2018年6月15日(金)14:00～ 於:市庁舎401会議室



1 議長挨拶

2 経過報告

- 5月11日 第90回連携会議
- 5月18日 石事協役員・研究推進委員:合同研修会(村井・斎藤出席 ※石事協役員小村)
- 5月29日 予算要望G会議(議案検討)
- 5月30日 日刊連携会議 No.122 発行

3 協議題1 2018年度各グループの活動計画について ~ P2

第90回会議等にて、各グループで年間活動計画について協議しています。

本日の会議で発表し全体で確認します。(①予算要望P2~ ②調査研修P4 ③研究P5~ の順番です)

4 協議題2「平成31年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について ~ P8~ + 別紙1・2 (提案 予算要望G担当)

5 実践交流 ※花川南小

予算編成の提案と執行計画 ポイント①年度当初②異動当初③複数配置 別紙3

6 連絡事項

① 市内基礎データ集約状況について

別紙4 エクセル様式参照

② ふらのフォーラムについて

現在のところ8/1に開催予定(時間、場所はわかり次第ご連絡します。)

例年通り、石狩連携会議が後援団体となります。

③ 今後の事務局調査の予定について

i PFシートを用いた保護者負担調査について

昨年初めて調査を行ってみました。今年度も継続的に調査を行い、自分の学校の傾向、市内の傾向等を探ることをしていきたい。次回会議にて詳しく説明をします。

ii 学校事務業務実態調査について

市内事務職員の皆さんに、日頃の仕事の状況と自分の考える仕事の範囲について調査を行うとともに、今後の「標準職務」や働き方について意見交流を行っていきたい。

平成30年度 予算要望G活動計画(案)

1. 構成員

寺下（花川北中） 斎藤（花川南中） 白田（花川南小） 小谷（花川中） 沼田（双葉小）
山崎（花川小） 後藤（浜益中） 佐藤（南線小） 鎌田（緑苑台小）

2. 活動方針

- （1）教育施設・設備と教育費の保護者負担軽減を求め、諸活動を推進する。
- （2）より確かな予算要望資料作成のため、日常実践を通して資料の収集と分析を行い、説得力のある要望書づくりと予算獲得に努める。
- （3）予算要望活動を学校間連携のとりくみとして推進する。

3. 活動計画

- （1）予算要望書の効率的及び効果的な資料作成のための企画立案
- （2）要望資料作成にあたり、成果や課題を踏まえ、各校の実態交流を通して、より説得力のある資料づくりを進める。
- （3）学校間連携による（実態）の調査により、年間を通じた活動を推進する。
- （4）予算要望書作成に関わる事務職員部会としての資料作り・・・これが一番大事な活動です。**

要望を継続することで実現している項目もたくさんあります。また一層の改善のために今後も継続や、新たな課題についても調査を行い働きかけていくことも大事なことかと思えます。今年度は継続項目も含め以下のとおり調査・資料作りを進めていきたいと考えています（それぞれの項目の具体的な検討は第1回予算要望部会で行います）。

- ・市経理消耗品費配分額における印刷関連経費の割合
定額制プリンタの導入や用紙のコスト削減など少しでも印刷費を抑える努力を各学校で行っているが、以前厳しい状況にあることを理解してもらう必要があると思います（学校配分予算の配分調整を行える現在ではあります）。
- ・保護者負担公費化のための要望（各教科実験材料費負担調査）
実際保護者がどれだけ私費負担をしているか把握できる資料のため、継続して調査を行い要望書に盛り込んでいく必要があると思います。
- ・学校図書館整備に係る消耗品など必要経費調査
継続して取り組んできた結果、小学校への司書配置に始まり必要経費の予算配分、今年度から中学校も巡回という形で司書の配置や、必要経費の予算配分など成果のみられる項目のひとつです。継続して調査を行い、さらなる改善をはかっていく必要があると思います。

・中学校ブラスバンドに関わる経費

この要望も継続して取り組んできた結果、継続した予算配分がなされるようになりました。この配分が継続されるよう、引き続き調査を行う必要があると思います。

・スキー学習バス代保護者負担調査

近年のバス代高騰により保護者負担が増加していることから、平成28年より調査を行い要望書に盛り込んでいます。その結果小学校の補助額増、中学校実施校への補助など成果のんでいる項目です。この項目もさらに改善がはかれるよう、継続して調査を行う必要があると思います。

・児童生徒一人当たりの配分予算の推移

ここ数年の全体、及び小学校・中学校の単価の推移を把握することにより、今後増税になる場合の予算に対する配慮を働きかけていくことができるのではないかと思います（増税分の予算措置がなされるよう働きかける資料にできればと思います）。

・小学校英語等外国語活動の導入に伴う必要経費調査（新たな調査をと考えています）

小学校での外国語科目の教科化、外国語活動の導入に伴い、その必要経費（消耗品費や教材備品費など）の実態を把握し、配分を働きかけていく資料にできればと思います。

・学習指導要領全面改訂に伴う教科書採択に関わる必要経費調査（新たな調査をと考えています）

数年後に実施される指導要領の全面改訂に伴う教科書採択に関わり、必要経費の実態を把握し、消耗品費の増額のみでは購入することが難しい、必要な物品・備品の購入・整備ができるよう働きかける資料にできればと思います。

※予算要望委員会への事務職員部会としての新たな取り組み

・学校ランキング表の調査用紙・集約用紙様式の改訂

第3回定例会で配布したたたき台について第1回予算要望部会で確認。第2回連携会議で再度確認して、第1回予算要望委員会事務局より調査依頼。

・予算要望委員会としての重点要望事項のうち、事務職員部会としての重点要望の検討

第3回定例会で提示した内容について第1回予算要望部会で検討。第2回連携会議で再度確認して、第1回予算要望委員会各団体から出てくる重点要望とともに確認する。

4. 作業日程について

- | | |
|------------------------|------------------|
| (1) 上記2点、各調査内容等の確認・検討 | 5月29日（第1回予算要望部会） |
| (2) 上記2点、調査書の具体的な内容の決定 | 6月15日（第2回連携会議） |
| (3) 調査期間 | 6月18日～7月4日 |
| (4) 調査結果集約・検討 | 7月18日をめどに |
| (5) 予算要望書内容検討 | 夏季研修会 |
| (6) 予算要望書最終確認 | 8月31日（第4回連携会議） |
| (7) 予算要望書資料提出 | 9月上旬 |

1 所属メンバー

榎本（石狩小）、藤谷（花川小）、三浦（生振小）、小野（南線小）
保里（紅南小）、小村（八幡小）、三浦（樽川中）、高松（花川中）

2 活動方針

- (1) 業務の効率・迅速・正確・簡素化を図るため、学校事務の実態調査を行い、改善方法について検討・提案する。
- (2) 研究課題の解決や研鑽を深めるため、視察研修を企画・推進する。

3 活動計画

(1) 学校事務の改善について

- ①事務職員が関わっている業務について、調査・資料化をする。
- ②備品台帳の維持管理、その他備品関係等にかかわって教育委員会との調整を行い、検討・改善を図る。
- ③就学援助事務の手引きに改善の必要がある場合は、改善に向けて検討を図り、教育委員会との調整を行う。また、変更が生じた場合は、手引きの変更を行う。
- ④上記作業等については、協議会、連携会議事務局と十分に連携を取り、学校間連携会議 HP の手引のページについて様式の掲載等の充実を図る。

(2) 視察研修等について

- ①他支部交流、出前講座については、調査研修グループで内容を検討し提案する。実施後、報告を行い会員に研修成果の還元に努める。

1 構成員

構成	氏名	所属	備考
研究推進委員	村井 誠	石狩中学校	研究課題解決
管内研究担当 総務その他担当	中川 雄二(副チーフ)	厚田中学校	夏季研課題
	富永 有斗理	厚田小学校	管内研課題
	田中 豪	浜益小学校	全道研関係
	細川 貴史	聚富小中学校	冬季研課題
連携事務局所管	小板橋 悟	花川南小学校	助言

2, 今年度研究課題

□子どもの学習権を保障する創造的学校事務の展開

～「学校間連携」のとりくみをとおして～

3, 活動方針・計画

(1) 学校事務職員としての専門性を生かしたとりくみ

- ①今年度石事協研究主題「保護者負担の公費化」に向けたとりくみ(公費化基本リスト作成)
- ②財政基盤強化に向けた「石狩市予算要望委員会」との連携強化のとりくみ
- ③学校間連携事業における日常実践での交流と課題解決に向けたとりくみ
- ④夏季・冬季研修会での事務職員課題に関する課題解決に向けた協議
- ⑤その他協議事項(提言の扱い)

(2) 継続課題

- ①各学校の予算書の交流
- ②石協研2次集会・管内研修会への積極的参加への呼びかけ
- ③学校間連携事務局との協力協働体制の強化
- ④各種レポート作成体制

4、重点課題

- (1) 「石狩市予算要望委員会」とのさらなる連携(予算要望Gと連携)
- (2) 提言をさらに生かすための組織的運用(石狩市予算要望書)
- (3) 「学校事務の専門性」のとらえ返し
事務職員の専門性(プロフェッショナル)とは何だろうか?
研究Gの方々のいろんな意見を聞きたい。

5、石教研2次研究協議会に向けて

(1) レポート構成(案) 基本的には昨年度と同様の骨子にする

- ①、組織構成
- ②、研究主題
- ③、過去の活動内容

④、1年間の取り組み

- ア、予算要望委員会へのアプローチ(保護者負担の公費化に向けた第一歩)
- イ、就学援助の変更に伴うアプローチ(担当者会議)
- ウ、実践交流(各学校予算書 学校事務だより)
- エ、PFシート交流(冬季研修での検討)・・・管内研で交流
- オ、新たな保護者負担について(夏休み帳という新たな負担)・・・提言との関わり
- カ、その他(いろいろあったと思うのですが・・・)

⑤、学校間連携会議の成果と課題

(2)2次集会レポート作成までの日程については下記の年間活動計画日程を参照

6、年間活動計画日程

日程	内容	備考
4月10日	石教研第1次研究協議会・第1回推進委員研修会	新年度概要
4月12日	石教振第1次研究協議会・第2回定例会	
4月26日	教頭会事務局との協議	予算要望組織改正
5月11日	第3回定例会	
5月18日	第2回推進委員研修会・合同研修会	今年度研修計画
5月 日	研究G打ち合わせ	課題協議
5月 日	石教振推進委員・会計担当者会議	計画 会計案
6月14日	第3回推進委員研修会	
6月15日	第4回定例会	
7月 3日	第5回定例会	レポート骨子
8月 日	夏季研修会	
8月 中旬	2次集会レポート作成	
8月21日	第4回推進委員研修会	
8月31日	石教振2次研究協議会・第6回定例会	
8月31日	石教研用レポート原案検討	2次集会用
9月13~14日	全道事務職員研究大会(函館大会)	研究会
9月21日	第7回定例会	2次集会レポート 管内研レポート
9月22日	2次集会用レポート印刷丁合	帳合 配布
9月28日	第5回推進委員研修会	レポート提出
10月 9日	石教研2次研究協議会司会記録会議	
10月12日	石教研2次研究協議会	
11月 9日	管内事務研修会	研究G発表
11月20日	第8回定例会	
12月 7日	第6回推進委員研修会	
12月14日	第9回定例会	
2月 8日	石教振3次研究協議会・第10回定例会	
2月12日	第7回推進委員研修会	
2月21日	第11回定例会	年度反省検討
3月15日	第12回定例会	

<協議題2>「平成31年度 石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について

○予算要望委員会に対して事務職員部会としての取り組みの確認

「学校ランキング表の各学校調査用紙・集約用紙様式改訂」及び「予算要望委員会としての重点要望（共通要望）事項のうち、事務職員部会としての重点要望」（それぞれ別紙参照）の2点につきまして、前回の定例会で説明させていただき、その後予算要望グループ会議での検討、さらに会員のみなさんからもご意見をお聞きしましたが、特段修正や変更等のご意見はありませんでしたので、このとおり予算要望委員会に対して取り組みを進めていきたいと思っております。

○事務職員部会としての要望に係る資料作り

5月29日に行われた予算要望グループ会議をもって具体的取り組み内容を作成しましたので、ご確認・ご検討願います。

1 予算要望書作成に向けた作業日程について

(1) 予算要望部会議（調査内容の審議）	5月29日
(2) 具体的調査内容の確認・決定	6月15日（連携会議）
(3) 調査期間	6月18日～7月4日
(4) 第1回予算要望委会	7月 3日
(5) 要望書の全体検討（夏季研修会）	夏季休業中
(6) 提出資料の最終確認	8月31日（連携会議）
(7) 予算要望委員会への提出	9月上旬（連携会議で確認後）

2 具体的調査内容とすすめ方

(1) 市経理消耗品費配分額における印刷関連経費の割合（前年度実績）

調査目的・・・定額制プリンタの導入や用紙のコスト削減など長年印刷関連費を抑える努力を各学校で行っているが、それらの努力を行っても依然印刷関連費用が消耗品費を逼迫している現状にあることを理解してもらう必要があると思っております（学校配分予算の配分調整を行える現在ではありませんが）。

調査内容

学校配当消耗品費	プリンターインク・トナー使用料
レンタルプリンタ年間利用料	印刷機インク・マスター
コピー機使用（カウンター）料	用紙代
消耗品費配分額に対する割合	

(2) 保護者負担公費化のための要望（各教科実験材料費負担調査）

調査目的・・・この調査は長年行ってきていますが、実際保護者がどれだけ各教科等で私費負担をしているか、私費負担が大きくなっているか把握できる資料のため、保護者負担軽減の観点からも継続して調査を行い、要望書に盛り込み公費措置の働きかけを続ける必要があると思っております。

(6) 石狩市児童生徒一人あたりの配分予算の推移、比較

調査目的・・・連携会議で各学校から提出してもらっている市内基礎データ（児童生徒数や学級数、教職員数や予算配分項目など記載）を活用し、児童生徒ひとり当たりの配分予算の推移を資料化しています。この資料より、消費税が8%に増税になった時には増税分の予算措置がされていないことがわかりました（実質減額）。このことから、今後消費税が10%になる時には増税分を予算措置してもらうよう、働きかける資料になればと思います。

※各学校での回答はありません。

(7) 外国語科目・外国語活動の導入に伴う必要経費調査（小学校）

調査目的・・・平成32年4月より小学校3・4年生は外国語活動、5・6年生は外国語が教科化され、現在は移行期間となっておりさまざまな準備が進められています。それに伴い必要な消耗品や教材備品等が発生することが考えられます（もう発生している物品もあるとは思いますが）。既存の消耗品費や教材備品費等を逼迫させることなく、それら必要経費を調査し要望していく必要があると思います。

調査内容

必要な消耗品・備品について、それぞれ品名・金額を学年ごとに記入してください。

上記以外（施設設備等）で必要なものがあれば記述してください。

※回答に際しては、具体的に「このような授業をするので、このような物品（備品）がほしい」という内容での記載をお願いします（教科の内容に関わってくる部分もあるので、これらに関わる先生からの聞き取りも合わせてお願いします）。

(8) 学習指導要領全面改訂に伴う教科書採択に関わる必要経費調査

調査目的・・・小学校は平成32年度から、中学校は平成33年度から学習指導要領が改訂となります。それに伴って、教科書採択予算が消耗品費の増額という形で配分されることになると思いますが、今回は学習指導要領が全面改訂されるということで、それに伴い整備しなければならない物品や備品が出てくることと思われます（Ex デジタル教科書）。調査を行うことによって、通常の消耗品費増額では購入することが難しい、これら必要な物品・備品が購入・整備できるよう要望をすることができればと考えます。

調査内容

教科書採択に伴う消耗品費増額予算とは別に、全面改訂に伴う整備に必要な物品・備品を記述してください。

※回答に際しては、各教科に関わってくるので、先生方の聞き取りも合わせてお願いします。

3 調査集約用紙について 別紙のとおり（Excel 様式参照）

4 調査集約について

別紙要望事項集約用紙に回答して期日 （7月4日） までに 花川北中学校（寺下） まで送信してください（要望事項集約用紙のデータは18日には送りたいと思います）。集約担当者（集約担当者には寺下からデータを送信します）は以下のとおりです。

- ・印刷関連費調査（花川南小 白田さん）
- ・各教科実験材料費保護者負担調査（小学校→花川小 山崎さん 中学校→花川中 小谷さん）
- ・スキー学習バス代調査（緑苑台小 鎌田さん）
- ・ブラスバンド楽器調査（浜益中 後藤さん）
- ・学校図書館必要経費調査（双葉小 沼田さん）
- ・学校配分予算推移調査（南線小 佐藤さん）
- ・外国語必要経費調査（花川南中 斎藤さん）
- ・学習指導要領改訂必要経費調査（花川北中 寺下）

平成31年度 教育予算要望

『重点要望事項』

○保護者負担軽減の充実

・各小学校では、長期休業中に補助教材として夏冬休み帳などを作成し、「学力向上」「自ら学ぶ姿勢の醸成」を行っていますが、学校で作成する場合に、著作権法の関係から教材（課題）の選定にとても苦慮し、適合作業に膨大な時間と負担を強いられているのが現状です。そのため、民間業者の教材を購入する以外に方法はなく、保護者の私費負担がとても大きくなっています。以上のことから、教材関係機関からの提供や作成、もしくは購入についての公費負担に対する予算措置を要望いたします。

・各中学校では、北海道教育文化協会で作成・販売する学力テストを私費で購入し、授業の中で実施していますが、「学力向上」はもちろんのこと、「進路選択」のための指標として、各学校により回数は異なりますが必ず実施せざる得ない状況であり、保護者の私費負担も大きなものとなっています。「学力向上」や「進路選択」のうえでもとても重要な取り組みとなっていることから、最低1回分の公費化を要望いたします。

○「学校における働き方改革」推進のために

・現在市内ほとんどの学校で、校舎内のポリッシャーやワックスがけについては、長期休業等を利用して学校職員で行っているのが現状です。「働き方改革」に関する通知でも触れられていますが、これは教職員の業務ではないとされています。また、この業務のために本来すべき業務が滞っている現状があることから、ワックスがけのための予算の弾力的運用・活用（非常勤職員採用の予算増額も含め）をすすめる予算措置を要望します。